

事後評価シート

資料11-1

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画名	福岡市における良好な水環境の創造			
交付期間	平成22年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成27年度	交付対象事業見込額	1,857百万円	国費率	50%	

1) 事業の実施状況	計画に位置づけ実施した事業		事業名								
			基幹事業	No.1 中部処理区（中部水処理センター再生処理施設改築，中部処理区再生水管整備） No.2 東部処理区（東部処理区再生水管整備）							
			関連事業	-							
	効果促進事業	-									
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標，指標，数値目標への影響					
			基幹事業	-	-	-	-	-			
	効果促進事業	-	-	-	-	-					
	新たに追加した事業		基幹事業	-	-	-	-				
			効果促進事業	-	-	-	-				
	交付期間の変更		当初	平成22年度～平成26年度	交付期間の変更による事業，指標，目標数値への影響			-			
変更			-								
2) 社会資本総合整備計画に記載した評価の指標（定量的指標）の実現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	実績値	見込値	目標達成度	目標達成度○△×の理由
	指標1	中部水処理センター再生処理能力	m3/日	7,200	H22	10,000	H26	10,000	H26	○	計画的な事業の実施によって目標値を達成した。
	指標2	再生水供給区域	ha	1,261	H22	1,376	H26	1,421	H26	○	計画的な事業の実施及び当初見込んでいなかった供給区域（六本松地区，アイランドシティ）の追加により目標値を上回った。

※指標改善への貢献度

○：評価値が目標値に達した場合

×：評価値が目標値には達していないものの，基準年度よりは改善していると認められる場合

3) 効果発現状況の整理	各指標の効果が得られた要因の整理 (成果と実施過程の関係性の整理)	<ul style="list-style-type: none"> ・「指標1：中部水処理センター再生処理能力」 中部地区の供給先増加に応じた能力増強を計画的に実施したことで、再生処理能力が計画通り向上し、目標値を達成した。再生処理能力が向上したことにより、再生水の安定供給及び更なる下水道有効資源の有効利用に寄与した。 ・「指標2：再生水供給区域」 当初編入区域として見込んでいなかった六本松地区及びアイランドシティの一部早期供用開始により、供給区域を追加したことで目標値を上回った。
	検討体制の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、公共事業再評価等監視委員会による事業評価システムを既に導入し、事業内容の評価及び検証を行っており、当事業についても当委員会による審議を行うこととしている。 ・計画の策定と事業実施、事業管理を行う部署を区分し、チェック体制の強化及び適切な事業推進体制を構築している。
4) 実施過程の検証	モニタリングの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年指標の達成状況をモニタリングし、事業進捗との調整を行ってきた。
	住民参加プロセスの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・道路下水道局では、市民からの要望があれば、いつでも出前講座を開催しており、下水道事業の理解と協力を得る手法として、今後も積極的に開催を進めていく。 ・福岡教育大学附属福岡小学校では、「浸水被害から福岡市民を救え！～地下から安全を見守る二つのレインボープラン」と題して、福岡市の浸水対策事業を素材としたカリキュラムを組み立て、福岡市と学校が連携し、5年生の社会科の時間を利用し、学習に取り組んだ。この取り組みは、生徒自らの防災意識の向上や市政の取り組みを身近なものとして感じる事が出来る良い実践例となっている。この取り組みは、第5回（平成24年度）国土交通大臣賞〈循環のみち下水道賞〉を受賞している。
	持続的な事業推進体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、公共事業再評価等監視委員会による事業評価システムを導入し、事業内容の評価及び検証を行っており、当事業についても当委員会による審議を継続して行うこととしている。 ・事業実施と事業管理、計画の申請手続を行う部署を区分し、今後もチェック体制の強化及び適切な事業推進体制を維持する。
	パブリックコメントでの意見	—
5) 今後の方策	課題の解決状況	—
	今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市の再生水利用下水道事業については、供給箇所数日本一を誇る事業であり、今後も積極的に供給ニーズに応じた管路網の整備及びエリアの拡大を実施していく。
6) 次期計画への指標の継続性	次期計画の名称	福岡市における良好な水環境の創造（2期計画）
	計画期間	平成27年度～平成30年度
	現在設定している指標	<p>既に事業実施中のため、以下の指標を設定している。</p> <p>①再生水供給施設数（箇所）</p>
	指標に対する検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・前計画は再生処理能力及び再生水供給区域を指標として設定していたが、2期計画期間内において大規模な供給先の追加及び供給区域の追加予定が無いことから、当該指標は削除し、現在の供給区域内における供給施設数を新たな指標として設け、今後は、供給施設の増加に寄与するPR活動等を積極的に行っていく。

要素事業と指標との関係

A. 基幹事業

番号	事業種別	事業及び施設種別	要素となる事業名 (事業個所)	事業内容	指標への貢献度	
					指標 1	指標 2
No. 1 中部処理区 (再生水)						
A1-1-1	下水道	処理場	中部水処理センター再生処理施設改築	配水池, 機械, 電気	○	
A1-1-2	下水道	管渠	中部処理区再生水管整備	再生水管整備 L=970m		○
No. 2 東部処理区 (再生水)						
A1-2-1	下水道	管渠	東部処理区再生水管整備	再生水管整備 L=5, 322m		○

B. 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	事業及び施設種別	要素事業 (事業個所)	事業内容	指標改善への貢献度	
				計画 (最終) 内容	指標 1	指標 2

C. 効果促進事業

番号	事業種別	事業及び施設種別	要素事業 (事業個所)	事業内容	指標改善への貢献度	
				計画 (最終) 内容	指標 1	指標 2

※指標改善への貢献度

○ : 指標への効果が見込まれる事業

事業の概要

福岡市における安全・安心・快適な暮らしの実現

事業規模	基幹事業	効果促進事業	処理区別							
			西戸崎処理区	和白処理区	東部処理区	南部処理区	中部処理区	西部処理区	新西部処理区	全処理区
事業実施数	3	0	0	0	1	0	2	0	0	0
整備計画の全事業数	3	0	0	0	1	0	2	0	0	0

主要施策	主な事業内容
処理水の有効利用 本市は節水型都市づくりを推進するため、全国に先駆けて「福岡市節水推進条例」を設置し、再生水利用に取り組んでおり、中部水処理センターは今後の需要の伸びに対応できるように増強工事を実施。 【主な事業】 ○中部水処理センター 再生処理施設改築 ○中部処理区再生水管整備 ○東部処理区再生水管整備	<p>◆再生水供給区域</p> <p>◆再生処理施設(中部水処理センター)</p>

